


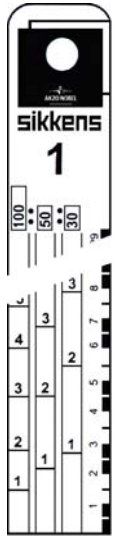


オートベースプラス 3コートシステム塗装要領

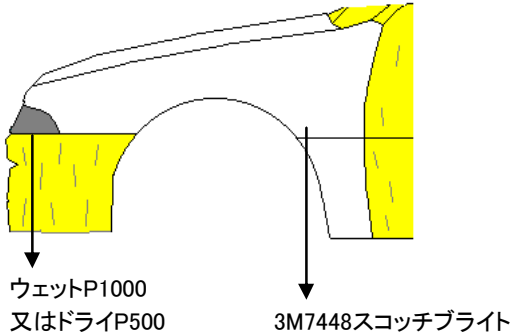
オートベースプラスは、様々なOEM塗膜システムに適応できます。下記の塗色に対して適切な方法で補修してください。

<p>使用できる塗色</p>	<p>3コートパール 3コートオパールカラー クロマフレア カラー (特殊色) その他全ての3コート色</p>		
<p>混合比及び可使用時間</p> 	<p>カラーベース</p> <p>100部 (容量比) オートベースプラス 50部 (容量比) ニュー プラス リデュースー</p> <p>パールベース</p> <p>100部 (容量比) オートベースプラス 50部 (容量比) ニュー プラス リデュースー</p> <p>ホワイト系3コートパールをニゴリで仕上げる場合</p> <p>* カラーベースのボカシをする場合は、パールベース混合物100部に対して、カラーベース混合物を10部混合してください。</p> <p>可使用時間: 20°C/6ヶ月</p>		
<p>スプレーガン及びスプレー圧力</p> 	<p>スプレーガン</p> <p>上カップ 下カップ HVLP上カップ</p>	<p>ガン口径</p> <p>1.3-1.5mm 1.4-1.6mm 1.3-1.5mm</p>	<p>スプレー圧力</p> <p>3-4 bar 3-4 bar 最大0.7bar</p>
<p>塗装方法</p> 	<p>詳細は、t.i.s. 5.2.65(オートベースプラス)を参照してください。</p>		



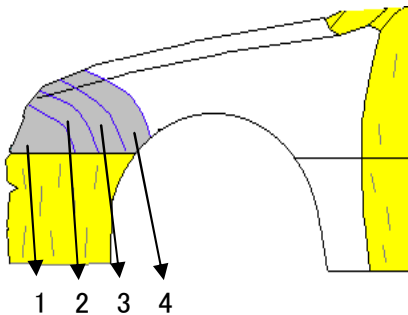
オートベースプラス 3コートシステムスポット補修塗装要領

(ステップ1)



サフェーサー部分を最終番手ウェットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分は3M7448スコッチブライトグレーにブレンドプレップ+水を使用しウェットスカuffingしてください。
塗装開始前にはディグリーサーM600で脱脂をし、エアブロー及びタッククロスをしてください。

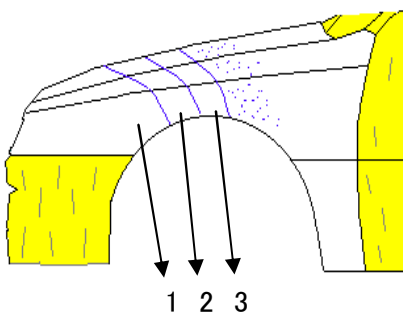
(ステップ2)



* ボカシ際のオーバーミストを防止する為には先にオートベースプラス ブレンド剤 (t.i.s.5.2.65J参照) を使用してください。

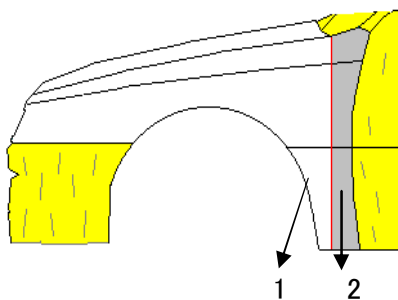
スポット補修の場合スプレー圧力は最初から最終コートまで $1.0\sim 1.5\text{kg}/\text{cm}^2$ で設定してください。左記の図のように部分1~3を3回ミディアムコートし、各コートは、オーバーラップします。色決めが終了したら、最終コートは部分4まで大きくボカシをしてください。ボカシ際は希釈済み塗料に対し100%のリデュースを添加してボカシ塗装してください。

(ステップ3)



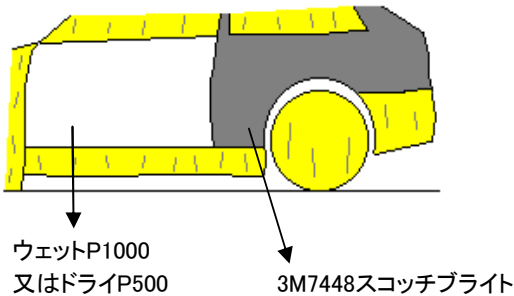
パールベースはカラーベース同様に部分1~3までをスプレー圧力 $1.0\sim 1.5\text{kg}/\text{cm}^2$ で設定し、実車の色にマッチする回数を塗装してください。

(ステップ4)



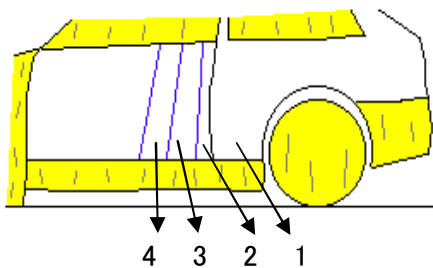
オートベースプラス塗装終了後、 $20^{\circ}\text{C}/15$ 分以上フラッシュオフタイムをおいてからクリアコートしてください。クリアコートは、1コート目はオートベースプラスを塗布した箇所までとし(部分1)、最終コートでパネルをブロック塗装してください。(部分2)

(ステップ1)



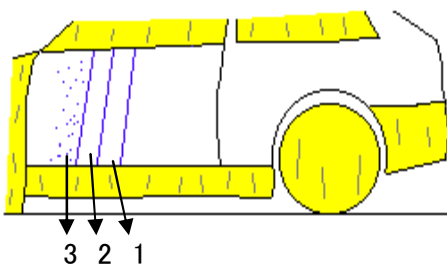
左図は、クォーターパネル補修を示しています。クォーターパネル部分を最終番手ウェットP1000又はドライP500でサンディングし、ボカシ部分(ドア)は3M7448スコッチブライトグレーにブレンドプレップ+水を使用しウェットスカuffingしてください。塗装開始前にはディグリーサーM600で脱脂をし、エアブロー及びタッククロスをしてください。

(ステップ2)



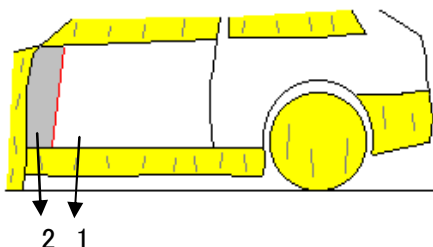
パネル補修の場合、部分1~3までのスプレー圧力は $2.0\sim 3.0\text{kg/cm}^2$ で設定し、3回シングルコートしてください。各コートは、オーバーラップします。色決めが終了したら、最終コートは部分4まで大きくボカシをしてください。ボカシ際は希釈済み塗料に対し100%のリデュースを添加してボカシ塗装してください。

(ステップ3)



パールベースはカラーベース同様に部分1~3までをスプレー圧力 $2.0\sim 3.0\text{kg/cm}^2$ で設定し、実車の色にマッチする回数を塗装してください。

(ステップ4)



オートベースプラス塗装終了後、 20°C /15分以上フラッシュオフタイムをおいてからクリアーコートしてください。クリアーコートは、1コート目はオートベースプラスを塗布した箇所までとし(部分1)、最終コートでパネルをブロック塗装してください。(部分2)